

# 鶏卵



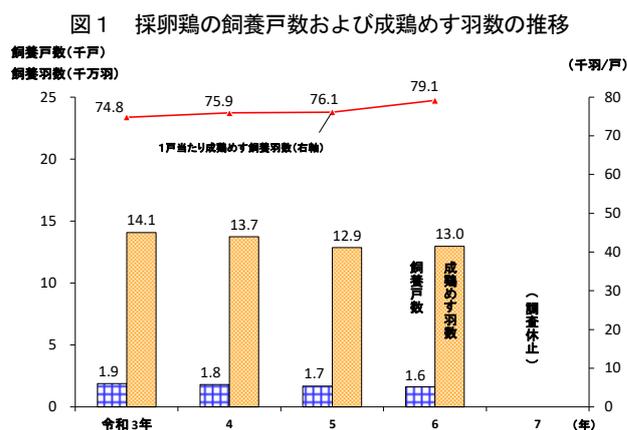
## ◆飼養動向

6年2月現在の成鶏めす飼養羽数、前年比0.9%増

採卵鶏の飼養戸数は、小規模飼養者層を中心に減少傾向で推移している。令和6年は、1640戸（前年比3.0%減）と前年をやや下回った（図1）。

成鶏めす（6カ月齢以上）の飼養羽数は、3年以降、高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）発生の影響により減少傾向で推移していたが、6年は1億2973万羽（同0.9%増）と前年をわずかに上回った。この結果、1戸当たり成鶏めす飼養羽数は、7万9100羽（同3.9%増）と前年をやや上回った。なお、種鶏を除く採卵鶏の飼養羽数は1億6860万羽（同0.7%減）と前年をわずかに下回った。

また、成鶏めすの飼養戸数および飼養羽数を規模別に見ると、10万羽以上を飼養する層は、飼養戸数全体の約20%、飼養羽数全体の約80%をそれぞれ占めており、同割合は増加傾向となっている。

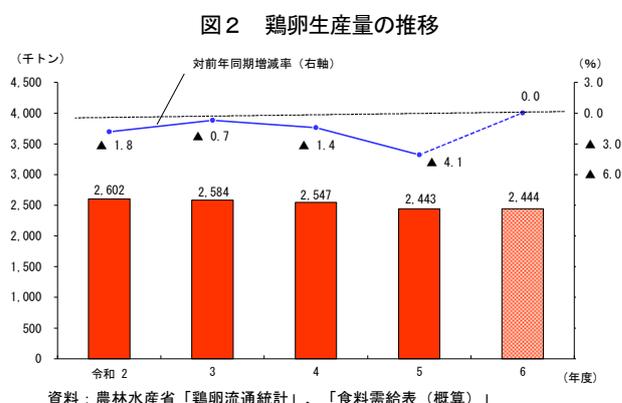


資料：農林水産省「畜産統計」  
 注1：各年2月1日現在。  
 注2：成鶏めすとは、種鶏を除く6カ月齢以上のめすをいう。  
 注3：飼養戸数は、種鶏のみの飼養者を除く。  
 注4：令和7年は農林業センサス実施年のため、調査休止。

## ◆生産

6年度の生産量、前年度比23.6%減

鶏卵生産量は、平成27年度以降、家庭用、業務・加工用ともに需要が旺盛であったことなどから、前年度を上回って推移していたが、令和2年度には260万1842トン（前年度比1.8%減）と6年ぶりに減少した（図2）。しかし、2年度以降は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により価格が低下したことや、HPAIの記録的な発生の影響により、それぞれ前年度を下回って推移してきたが、6年度（4～12月）は244万4000トン（同0.0%増）と前年度並みとなった。



資料：農林水産省「鶏卵流通統計」、「食料供給表（概算）」

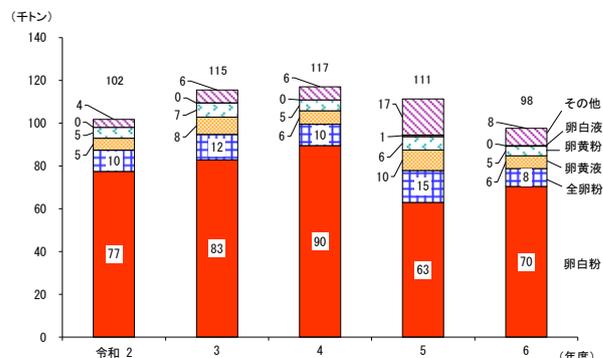
## ◆ 輸 入

### 6 年度の輸入量、前年度比 12.3% 減

鶏卵（ふ化用除く）の輸入量（殻付き換算）は、国内消費量の4%程度で推移している。輸入量のうち約9割は加工原料用の粉卵が占めており、主にオランダ、イタリアおよび米国から輸入している。また、粉卵の輸入量のうち約7割は卵白粉となっている（図3）。

令和3年度以降は日本国内でのHPAI発生の影響による加工用国産鶏卵の代替需要などから増加傾向で推移していたが、6年度は、前半に国内の需給が緩和したことなどにより、9万7591トン（前年度比12.3%減）と前年度をかなり大きく下回った。

図3 鶏卵輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注1：殻付き換算ベース。  
注2：四捨五入の関係で、合計値は必ずしも一致しない。

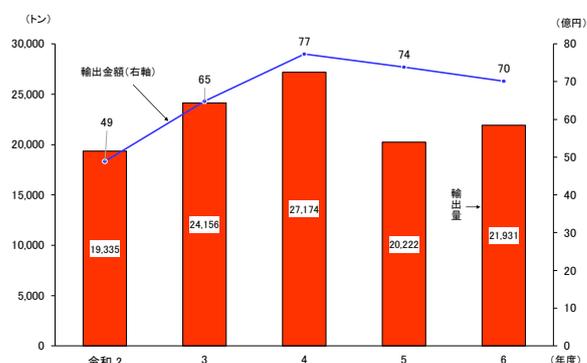
## ◆ 輸 出

### 6 年度の輸出量、前年度比 8.5% 増

近年、鶏卵（殻付き卵）の輸出量は、高い衛生管理による品質や安心感が評価され、増加傾向で推移したが、令和6年度は、依然として輸出先国での需要の低迷などから2万1931トン（前年度比8.5%増）と前年同月をかなりの程度上回った一方、同輸出額は70億1051万円（同5.1%減）と前年同月をやや下回った（図4）。

輸出先については、香港向けの同輸出量が2万1505トンと全輸出量の98%、同輸出額が67億8459万円と全輸出額の97%を占めており、その他、シンガポール、グアムとなっている。

図4 鶏卵の輸出量および輸出金額の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：殻付き卵。

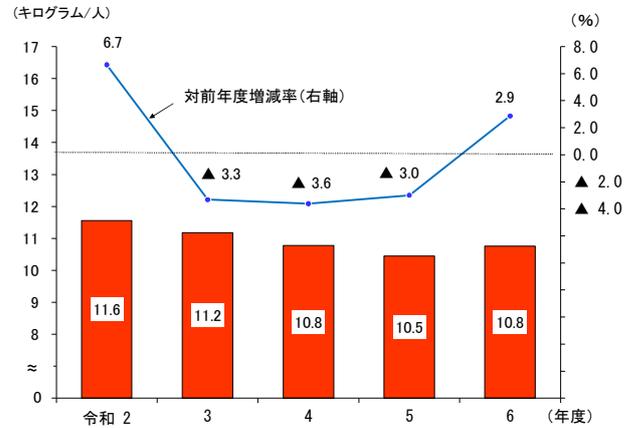
## ◆消費

### 6年度の1人当たり家計消費量、前年度比2.9%増

鶏卵の家計消費量は、量販店などで販売されるテーブルエッグに加え、近年、食の簡便化に対応してコンビニエンスストアなどで販売されている卵加工品の需要の高まりを受け、概ね安定的に推移している。

年間1人当たりの家計消費量は、令和3年度以降はHPA I発生に伴う供給の減少による価格上昇などを背景に減少傾向にあったが、6年度は10.8キログラム(前年度比2.9%増)と前年度をわずかに上回った(図5)。

図5 鶏卵の家計消費量(年間1人当たり)



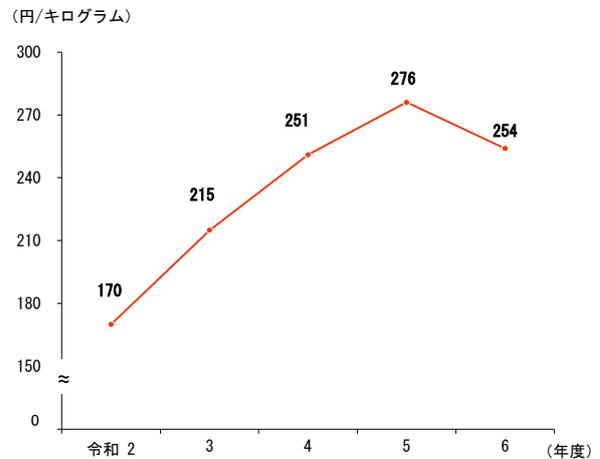
資料：総務省「家計調査報告」  
注：1世帯当たりの数値を世帯人数で除して算出

## ◆卸売価格

### 6年度の卸売価格、前年度比8.0%安

鶏卵の卸売価格の指標となるJA全農たまごの相場情報によると、令和3年度以降は、HPA I発生に伴う供給の減少のほか、業務用需要が回復傾向にあることや生産コストの上昇などからそれぞれ前年度を上回っていたが、6年度は1キログラム当たり254円(前年度比8.0%安)と前年度をかなりの程度下回った(図6)。

図6 鶏卵の卸売価格(東京、Mサイズ基準値)



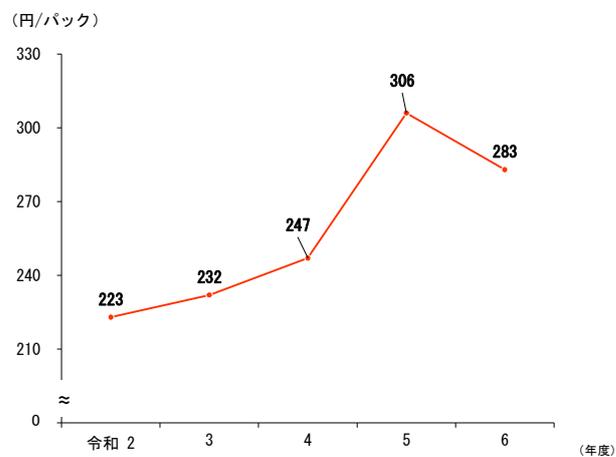
資料：JA全農たまご株式会社「相場情報」  
注：消費税を含まない。

## ◆小売価格

## 6年度の小売価格、前年度比7.5%安

鶏卵小売価格（東京都区部）は、令和6年度の鶏卵の卸売価格（東京、Mサイズ基準値）が年度後半から上昇傾向で推移し、年度末には前年を超える水準まで上昇した一方、小売価格は低迷が続き、1パック当たり283円（前年度比7.5%安）と前年度をかなりの程度下回った（図7）。

図7 鶏卵の小売価格（東京都区部）



資料：総務省「小売物価統計調査」

注1：消費税を含む。

注2：価格は、サイズ混合（卵重「MS52g～LL76g未満」、  
「MS52g～L70g未満」または「M58g～L70g未満」）。